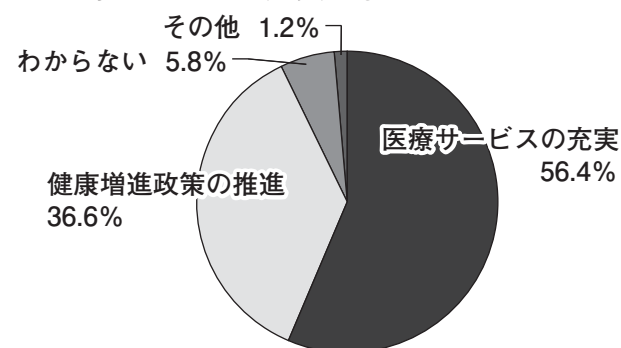


病院受療動向調査の結果を公表します

市では、地域医療の在り方や必要とされる医療サービスなどについて検討するため、市民の皆さんが、どの地域の医療機関をどのように利用されているかなどを把握する「病院受療動向調査」を実施しました。今回、その調査結果がまとまりましたのでお知らせします。ご協力ありがとうございました。

③天草市が進めるべき保健医療施策の方向性は？

→医療サービスの充実に求めている



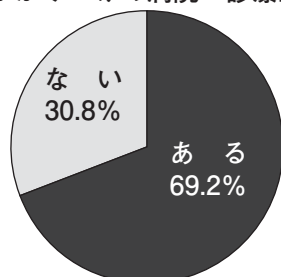
健康増進に対する関心よりも、「医療サービスの充実」に対する関心が高いという結果が出ました。

唯一、有明地域のみ「健康増進政策の推進」という回答が多くなっています。

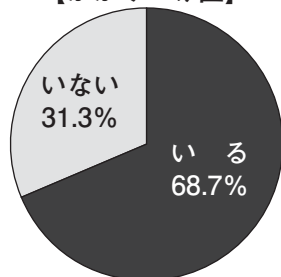
④世帯のかかりつけ病院や診療所はありますか？ また、かかりつけ医はいますか？

→7割の世帯が「かかりつけ病院・診療所」を、7割の市民が「かかりつけ医」を持っている。

【かかりつけの病院・診療所】



【かかりつけ医】

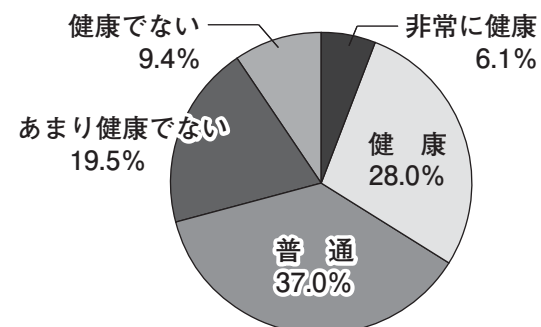


7割の世帯が「かかりつけ病院・診療所」を、7割の人が「かかりつけ医」を持っています。特に、牛深・有明・栖本・河浦地域では、多くの方がかかりつけ医を持っているようです。

診療科目別では、内科（66.3%）、整形外科（6.3%）、外科（5.4%）、小児科（4.9%）の順となっています。

⑤自分の健康状態は？

→7割の人が「自分は健康だ」と思っている。

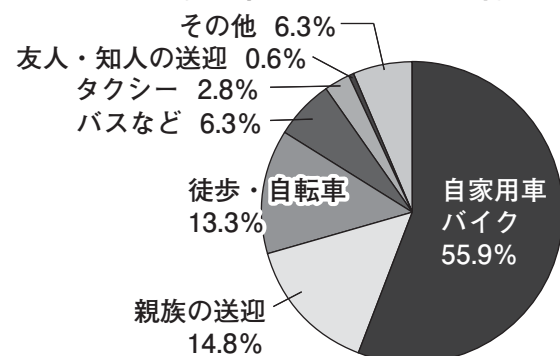


7割の人が「健康」または「普通」だと思っています。

年代別では、30歳代までは「健康」と感じている人が、40～60歳代では「普通」、70～80歳代では「あまり健康でない」が1番多くなっています。

⑥通院のときの交通手段は？

→6割の人が自家用車やバイクなどを利用している。



「自家用車・バイク」を利用している人が半数を超えています。

性別では、男性の69%が「自家用車・バイク」を利用していますが、女性は49%となっています。女性は、「バスなど」「親族の送迎」「徒歩・自転車」の割合が男性より多くなっています。

◇調査対象・方法

調査は、旧市町の地域特性や人口比などを考えて地区を選定し、その地区の中から無作為に抽出した世帯を対象に事前に調査票を郵送し、調査員が聞き取り調査を行いました。調査対象は2,499世帯・7,257人（世帯票回収数：2,106世帯〔回収率84.3%〕。個人票回収数：5,391人〔回収率74.3%〕）。

◇調査結果の活用

市では、病院受療動向調査の結果を「天草市における病院受療動向調査報告書」としてまとめ、10月に開かれた「第2回市立病院等の経営の在り方等に関する審議会」へ報告しました。同審議会では調査結果を踏まえて、今後も地域医療の在り方などについて検討していきます。

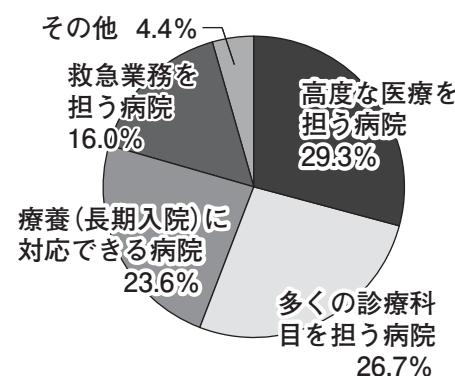
◇調査結果のまとめ

病院受療動向調査結果の概要は8～11ページのとおりです。

なお、各項目ごとの性別や年代別、地域別などの詳しい調査結果をまとめた「天草市における病院受療動向報告書」を本庁・企画課または各支所・総務振興課に備え付けているほか、市のホームページでも見ることができます。

①住んでいる地域で今後望まれる医療サービスは？

→高度で多様な診療ができる病院を望んでいる。

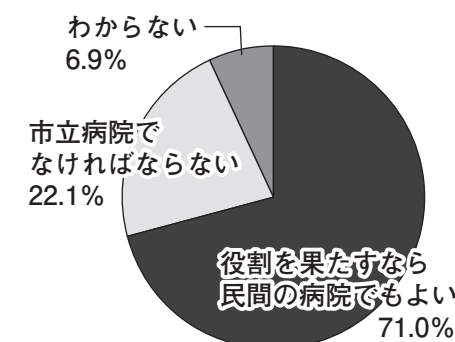


全体では、「高度な医療を担う病院」「多くの診療科目を担う病院」「療養（長期入院）に対応できる病院」がほぼ同じ割合となっています。

地域別では、医療機関が充実している地域とそうでない地域で大きく異なっているようです。

②病院は市立でなければなりませんか？ 民間でもよいですか？

→役割を果たすなら民間の病院でもよい。



7割の人が「役割を果たすなら民間の病院でもよい」と思っています。

地域別では、新和・河浦地域で「市立病院でなければならない」という人の割合が30%を超えていますが、本渡・倉岳・五和・天草地域では「役割を果たすなら民間の病院でもよい」とする人の割合が70%を超えています。